

## たまねぎ ベと病の防除について



たまねぎに大きな被害を出す「ベと病」が発生しやすい時期になってきました。この病気は、気温が15度ぐらいで温暖多雨な時期に感染・発病を繰り返し大発生します。予防散布から始めないと防除効果が期待できません。今年も多発が懸念されますので、耕種的防除を含めて、農薬散布による防除をお願い致します。



※葉に楕円形・不整形の黄色病斑を形成。病斑部から折れて垂れ下がる。

### 1. 多発する原因は？

①排水が悪い圃場 ②日陰で風通し悪い圃場 ③気温が15℃前後で、湿度95～100%になる日が続くとき、とくに4月中下旬～5月上旬に曇雨天が続くとき。

### 2. 耕種的防除

- ①排水の悪い圃場では、降雨後畝間に水がたまらないようにする。
- ②土壌中の病原菌が跳ね上がらないよう敷わら等をする。
- ③越年罹病株（すでに病気にかかっている株）は、早く抜き取り遠くへ処分する。

※「たまねぎ ベと病」の防除薬剤を整理しましたので、ご活用ください。※

### 3. 防除薬剤

防除薬剤名	使用倍数	使用時期・使用回数	規格	農家渡し価格 (円/税別)	備考
アミスター20フロアブル	2000倍	前日・4回	250ml	3,940	予防剤 (3月下旬～4月上旬が有効) 白色疫病にも効果がある
ジマンダイセン水和剤	400～600倍	3日前・5回	250g	550	
ダコニール1000	1000倍	7日前・6回	250ml	1,040	
ホライズンドライフフロアブル	2500倍	3日前・3回	200g	2,940	
ランマンフロアブル	2000倍	7日前・4回	100ml	1,000	
レーバスフロアブル	2000倍	前日・2回	250ml	2,600	